

ボウシと名駅西リニア予定地

かなり前からボウシを愛用するようになった。夏はもちろん、今では季節を問わず、ボウシを被っている。写真上は愛用のボウシである。形と色がお気に入りだ。注目してほしいのが「5L 64cm」というサイズである。こんなに大きなサイズは、なかなか手に入らない。

私の頭は、幼少のころから大きかった。「頭でっかち」と呼ばれたこともあった。大きな頭なので「脳みそ」が一杯詰まっており、この子は将来きっと賢くなると言われたが、違っていた。大きな頭で悩ましいのが、散髪とボウシである。頭が大きいだけ、散髪に時間がかかり、理髪店さんに迷惑をかけている。でも、親切な理髪店さんが多く、「苦情」らしきものは聞かないが。

ボウシについては、とくに小中高のとき制帽のサイズが合わず、頭のうえに「ちょい被り」であった。しっかり被れと教育的「指導」をされることも。そんなわけでボウシは、どうも苦手であった。そんな私がボウシを愛用するようになったのは、たまたま名駅西に「ボウシ館」というお店を見つけたからだ。ここに「5L」特大のボウシが常備されていた。それも格好いいものがあつた。



久しぶりに「ボウシ館」に行った。すこし行くと、幼少のころ、母に連れられて来た「鉄道病院」、今は名古屋セントラル病院がある。ほとんど覚えていないが、なんだか懐かしい。名駅再開発の波が、このあたりまで押し寄せている感じだ。

そこから名駅西の「椿神社」に向かった。リニア「名古屋駅」が地下深く、この近くまで建設される。神社の左に見えるのが、「駅西銀座」商店街。まっすぐ行くと中村区役所に出る。調査の帰り、学生と歩いた商店街だ。



「定点観測」している神社裏。空地となった駐車場は「JR 東海管理地」と表示されている。あまり変化していないようだ。名古屋市の外郭団体による用地買収が報道されていたが、現在はどんな状況なのだろうか。



名駅の方に向かうと、「風俗店」などが立ち並ぶ歓楽街に出る。平日の午後なのに、「客引き」らしい若い男女がたむろしていた。この用地買収はとりわけ困難なようだ。名駅西はなんだか落ち着かない感じの「まち」になってしまった。

(2017年10月24日)